

# 第26期 報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

```

<link href="assets/imgelist.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
<script type="text/javascript" src="assets/dialog.js"></script>
<script type="text/javascript">
/**]
if(window.top)
    I18N = window.top.I18N;

function hideMessage()
{
    var topDoc = window.top.document;
    var messages = topDoc.getElementById('messages');
    if(messages)
        messages.style.display = "none";
}

init = function()
{
    hideMessage();
    var topDoc = window.top.document;

&lt;?
//we need to refresh the drop directory list
//save the current dir, delete all select options
//add the new list, re-select the saved dir.
if($refreshDir)
{
    Sdirs = $manager-&gt;getDirs();

?&gt;

    var selection = topDoc.getElementById('dirPath');
    var currentDir = selection.options[selection.selectedIndex].text;

    while(selection.length &gt; 0)
    {
        selection.remove(0);
    }

    selection.options[selection.length] = new Option("/", "&lt;? echo rawurlencode("/"); ?&gt;");
    &lt;? foreach($dirs as $relative=&gt;$fullpath) { ?&gt;
    selection.options[selection.length] = new Option("&lt;? echo $relative; ?&gt;" "&lt;? echo rawurlencode($relative); ?&gt;");
    &lt;? } ?&gt;

    for(var i = 0; i &lt; selection.length; i++)
    {
        var thisDir = selection.options[i].text;
        if(thisDir == currentDir)
        {
            selection.selectedIndex = i;
            break;
        }
    }

&lt;? } ?&gt;

function editImage(image)
{
    var url = "editor.php?img="+image;
    Dialog(url, function(param)
    {
        if (!param) // user must have pressed Cancel
            return false;
        else
            return true;
    }
    ), null;
}

/*]]&gt;*/
&lt;/script&gt;
&lt;script type="text/javascript" src="assets/images.js"&gt;&lt;/script&gt;
&lt;/head&gt;

&lt;body&gt;
&lt;? if ($manager-&gt;isValidBase() == false) { drawErrorBase($manager); }
else if(count($list[0]) &gt; 0 || count($list[1]) &gt; 0) { ?&gt;
&lt;table&gt;
&lt;tr&gt;
&lt;? drawDir($list[0], $manager); ?&gt;
&lt;? drawFiles($list[1], $manager); ?&gt;
&lt;/tr&gt;
&lt;/table&gt;
&lt;? } else { drawNoResults(); } ?&gt;
&lt;/body&gt;
&lt;/html&gt;
</pre></div><div data-bbox="556 917 934 969" data-label="Page-Footer"><p>東京エレクトロン デバイス株式会社<br/>証券コード 2760</p></div>
```

## 株主の皆様へ

この度の東日本大震災により被災された株主の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

当社は、平成22年12月24日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と存じ厚く御礼申し上げます。

当社第26期報告書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）として事業の概況等をご報告いたします。



代表取締役副社長  
久我 宣之

代表取締役社長  
栗木 康幸

## 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種景気対策の効果や海外における景気改善傾向を背景に、緩やかな回復基調のもと推移してまいりました。しかしながら、デフレ状態は依然続いており、円高の進行や厳しい雇用情勢等の影響から、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが参画しておりますエレクトロニクス業界については、上半期において需要が堅調に推移したものの、景気刺激策の一部終了や民生機器等の買い替え需要に一服感が生まれたことから、下半期の半導体製品需要は減速傾向を示す展開とな

りました。スマートフォン市場は拡大を続け、産業機器関連の需要は順調に推移しておりますが、個人消費関連向け製品に対する需要は一部で低迷する状態となっております。また、国内企業の業況判断に対する慎重な姿勢を反映し、IT投資関連については回復に遅れが生じております。

このような状況のもと、当連結会計年度の売上高は913億1千5百万円（前期比7.2%増）、営業利益は27億4千5百万円（前期比32.0%増）、経常利益は29億4千1百万円（前期比38.9%増）、当期純利益は19億1千8百万円（前期比64.5%増）となりました。

## 経営戦略及び対処すべき課題

### ① 半導体及び電子デバイス事業の強化

当社の強みである技術サポートに磨きをかけ、商権拡大を図るとともに国内外における地域密着型の営業展開に努めてまいります。開発ビジネスについては、自社ブランド「inrevium（インレビウム）」商品の開発、設計受託からOEM（量産受託）展開、海外への進出を推進いたします。

### ② コンピュータシステム関連事業の強化

クラウドコンピューティングに適応した商品ラインアップを拡充し、全国の拠点を活用した営業活動を行ってまいります。また、

保守体制を整備し、システム構築・製品販売・保守サービスを組み合わせたビジネスを展開いたします。

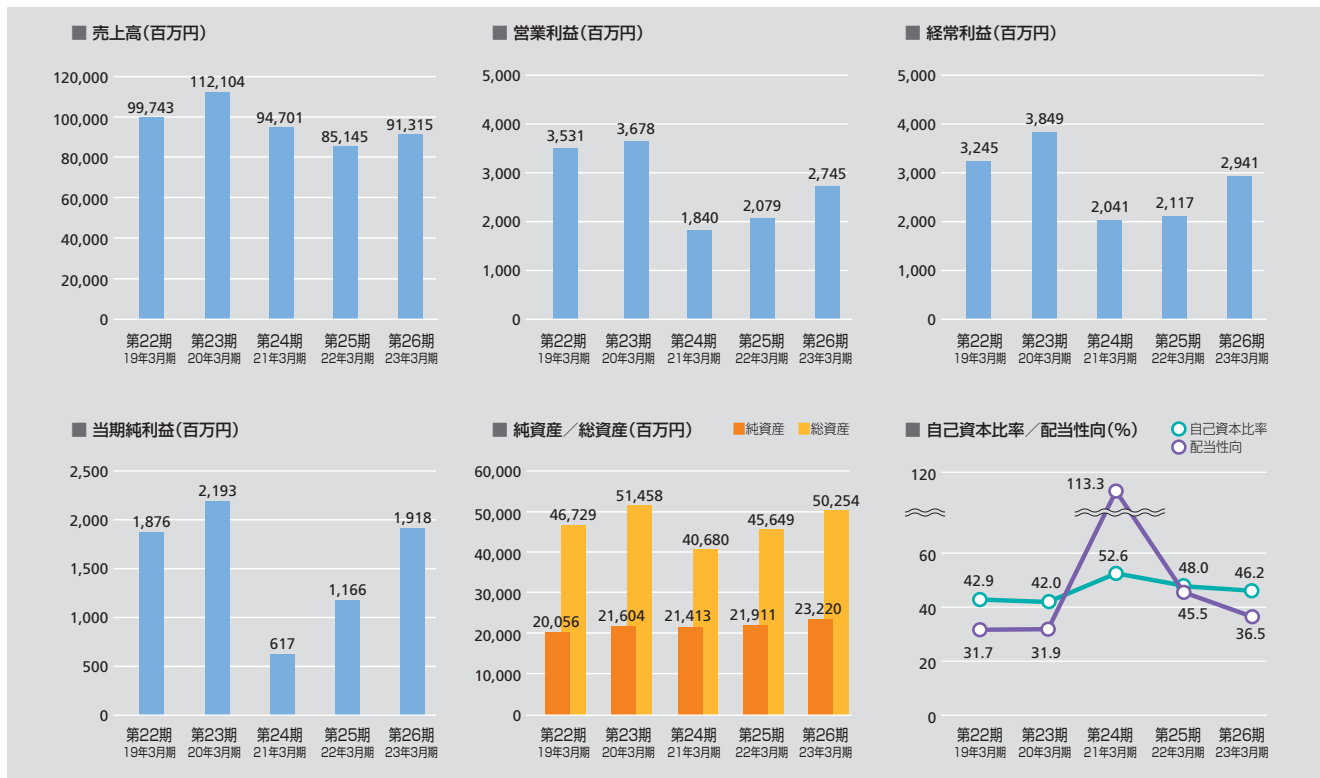
### ③ 新規事業への進出

今後成長が見込まれる環境・省エネルギー関連商品のマーケティングを強化し、取り扱い商品を拡充してまいります。

### ④ コーポレート・ガバナンスの充実等

コンプライアンス、環境・健康・安全を意識した組織運営並びに情報管理の強化を経営の基軸とし、上場企業として求められる社会的責任を果たすことに努めてまいります。

## 連結業績ハイライト



## 株主還元について

当社は、株主重視を経営の最重要事項の一つと位置付けており、継続的かつ安定的な配当実施を基本として、業績を反映した適正な利益還元を原則としております。

当面の配当性向の水準については連結当期純利益の35%程度を目安といたします。

当期の配当については、この基本方針をふまえつつ、平成22年12月24日をもって東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されたことを記念し、期末配当を3,600円(うち記念配当600円)、中間配当3,000円と合わせた年間配当を

1株につき6,600円とさせていただきます。

次期の配当予想については、1株当たり6,600円(中間3,300円・期末3,300円)を予定しております。

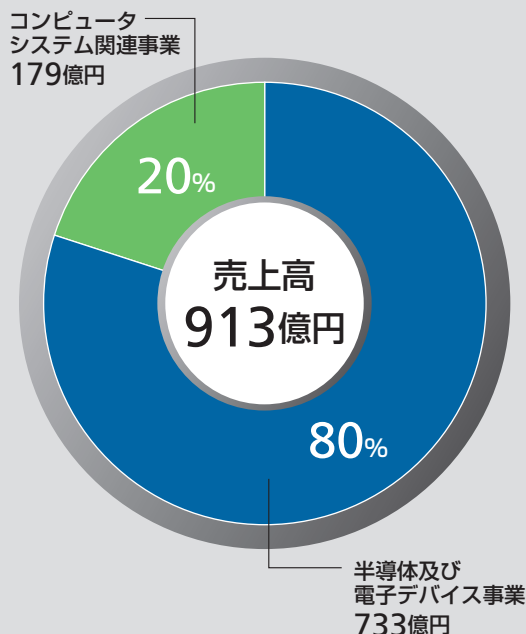
	平成23年3月期		平成24年3月期(予想)	
	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金(円)	3,000	3,600 <sup>(※)</sup>	3,300	3,300
配当性向	36.5%		35.9%	

(※) 平成23年3月期期末配当…普通配当3,000円、記念配当600円

## 事業紹介

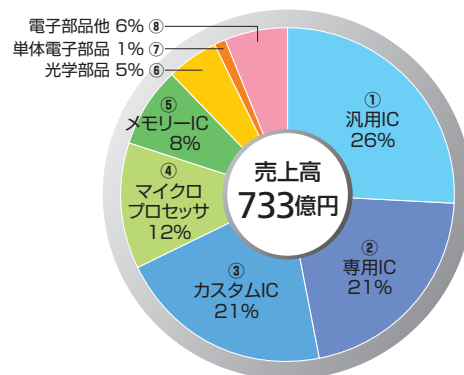
当社グループは、半導体製品、電子部品他の仕入・販売及び設計・開発を展開する「半導体及び電子デバイス事業」と、コンピュータ・ネットワーク機器、ソフトウェアをソリューションで提供する「コンピュータシステム関連事業」を展開しております。

## 平成23年3月期セグメント別 売上高



## 半導体及び電子デバイス事業

## 品目別売上構成



## ① 汎用IC

色々な用途に  
使用されるIC



## 主な商品と仕入先

アナログIC (リニアテクノロジー社)  
ロジックIC (テキサス・インスツルメンツ社)

## 主な最終製品

カーナビゲーション、FA機器、OA機器、  
デジタル家電、携帯電話基地局

## ⑤ メモリーIC

記憶専用のIC



## 主な商品と仕入先

フラッシュメモリ\*3 (富士通エレクトロニクス(株))  
SRAM (IDT社)

## 主な最終製品

デジタル家電、携帯電話、  
通信機器、FA機器

## 当期の業績

薄型テレビや周辺機器を含むデジタル家電等、民生機器関連に係る半導体制品への需要については、年明け以降低水準で推移する傾向となりました。一方で、医療機器、半導体制造装置及びFA機器等の産業機器関連に対する需要は順調に推移したことから、技術サポートが必要な高付加価値商品であるアナログICやカスタムICの売上が伸び、売上高は733億5千4百万円（前期比8.8%増）、セグメント利益（経常利益）は20億8千9百万円（前期比130.6%増）となりました。

## 技術サポート

仕入先ごとに専属のエンジニア（FAE）を配置し、お客様への技術説明や技術的な問い合わせ対応など、きめ細かい技術サポートを行っております。



### ② 専用IC

特定用途向けに作られるIC



#### 主な商品と仕入先

画像補正用（ピクセルワークス社）  
画像圧縮用（ピクシシステムズ社）  
通信用（ザーリンク・セミコンダクター社）  
セキュリティ用（インレビウム） **inrevium**

#### 主な最終製品

液晶プロジェクタ、デジタルTV、DVD、  
携帯電話基地局、監視カメラ

### ③ カスタムIC

お客様の仕様に応じて作られるIC



#### 主な商品と仕入先

PLD<sup>\*1</sup>（ザイリンクス社）  
ASIC<sup>\*2</sup>（富士通セミコンダクター株）

#### 主な最終製品

医療機器、FA機器、デジタル家電、プリンター

### ④ マイクロプロセッサ

コンピュータの中心となる頭脳として演算・制御機能を持つIC



#### 主な商品と仕入先

マイクロプロセッサ（フリースケール・セミコンダクタ社）  
DSP（テキサス・インスツルメンツ社）

#### 主な最終製品

携帯電話基地局、プリンター、  
医療機器、カーナビゲーション

### ⑥ 光学部品

電気を光に変換して使用する電子部品



#### 主な商品と仕入先

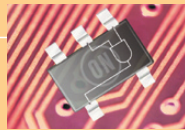
LED<sup>\*4</sup>、フォトカブラ<sup>\*5</sup>（アバゴ・テクノロジー社）

#### 主な最終製品

携帯電話、車載機器、FA機器

### ⑦ 単体電子部品

増幅や整流など単機能部品



#### 主な商品と仕入先

ディスクリート（オン・セミコンダクター社）

#### 主な最終製品

PC、FA機器

### ⑧ 電子部品他

ボード、電源など



#### 主な商品と仕入先

評価ボード（インレビウム） **inrevium**  
電源（コーセル 株）

#### 主な最終製品

デジタル家電、医療機器、FA機器、通信機器

※1【PLD】プログラム可能な論理素子のカスタムIC。ASICより短期開発が可能。

※2【ASIC】高性能が望めるが、開発期間が長くかかるカスタムIC。

※3【フラッシュメモリ】データを電氣的に保存するメディア。電源が切れても保持が可能。

※4【LED】電流を流すと発光するダイオード。ランプや表示器に使用。

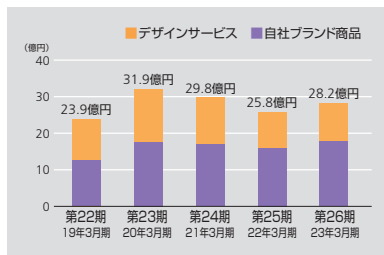
※5【フォトカブラ】電気信号を光に変換して伝送する素子。電氣的な絶縁が利点。

## 半導体及び電子デバイス事業

開発ビジネス *inrevium*

開発ビジネス（インレビウムビジネス）は、お客様の要求に基づきカスタムICやボードの設計を行う設計受託業務（デザインサービス）と市場ニーズに沿ったLSIやボード製品の企画開発を行う自社ブランド商品で構成されております。

## ■ 開発ビジネス売上高推移



## ■ 自社ブランド商品開発事例

SDカードの規格策定及び普及推進団体「SDアソシエーション」の設立以来のメンバーとしてSD規格の策定に携っており、最新規格に対応したICをいち早く製品化しております。

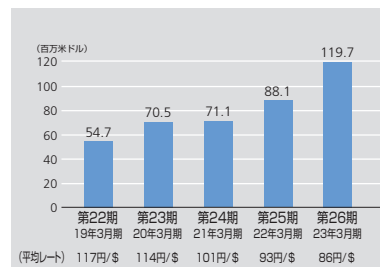


デジタルカメラの高速連写機能などで必要とされる、SDメモリーカードとカメラ間的高速データ伝送を実現

## 海外ビジネス

日系企業を主なお客様として、アジア地域での営業展開に注力しております。平成17年に東京エレクトロンデバイス香港を設立以来、順調に業績を伸ばしてまいりました。平成22年12月には、新たにマレーシアのクアラルンプールに営業拠点を開設いたしました。

## ■ 海外連結子会社売上高推移

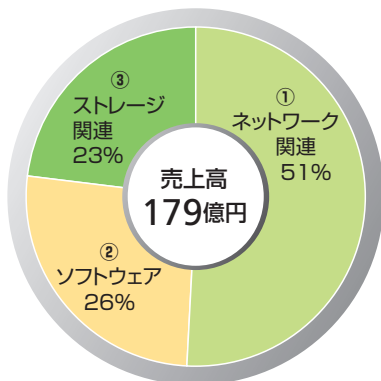


## ■ 海外営業拠点



## コンピュータシステム関連事業

### 品目別売上構成



### 当期の業績

IT投資への需要回復が遅れている影響から、コンピュータ・ネットワーク関連機器の製品販売が伸び悩んだものの、組み込み機器向けソフトウェアの販売が好調であったことや、保守サービスビジネスが堅調に推移したことなどから、売上高は179億6千1百万円（前期比1.4%増）、セグメント利益（経常利益）は8億5千2百万円（前期比29.6%減）となりました。

#### ① ネットワーク関連

インターネットの接続負荷の分散、セキュリティ強化



##### 主な仕入先

F5ネットワークス社  
エクストリーム社  
タレス社 他

#### ② ソフトウェア

組み込み機器向けのOSや  
データ管理を行うデータベース



##### 主な仕入先

日本マイクロソフト社  
オラクル社 他

#### ③ ストレージ関連

大容量データの記憶、  
統合技術によるコスト削減



##### 主な仕入先

ブロード社  
イーエムシー社  
エミュレックス社 他

### データウェアハウスエンジンの販売に注力

大容量データの高速処理を実現するDWH（データウェアハウス）エンジン「Greenplum Database」が注目されています。「Greenplum Database」は企業の業務システム化などにより増大しているデータの処理能力強化をローコストで実現する次世代型のDWHソリューションです。当社では、導入に向けての検証サービス、性能評価やシステムサイジングなどの導入支援サービスを提供しています。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

資産の部	前 期	当 期
	(平成22年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
	千円	千円
流動資産	41,136,668	45,251,175
現金及び預金	1,621,262	1,373,240
受取手形及び売掛金	20,890,706	21,025,318
商品及び製品	15,508,551	19,247,439
仕掛品	128,158	99,889
その他	2,989,992	3,656,364
貸倒引当金	△ 2,002	△ 151,076
固定資産	4,512,349	5,003,664
有形固定資産	1,121,766	1,469,616
無形固定資産	464,922	390,339
投資その他の資産	2,925,660	3,143,707
<b>1</b> 資産合計	45,649,018	50,254,839

#### 1 資産

総資産は502億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億5百万円の増加となりました。これは主に商品及び製品が増加したことによります。

#### 2 負債

負債総額は270億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億9千6百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が増加したことによります。

負債の部	前 期	当 期
	(平成22年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
	千円	千円
流動負債	18,538,665	21,280,981
買掛金	7,255,698	7,360,850
短期借入金	5,105,824	7,996,405
その他	6,177,142	5,923,726
固定負債	5,198,928	5,753,127
退職給付引当金	4,715,170	5,141,885
その他	483,757	611,241
<b>2</b> 負債合計	23,737,593	27,034,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,044,207	23,379,348
資本金	2,495,750	2,495,750
資本剰余金	5,645,240	5,645,240
利益剰余金	13,903,216	15,238,358
その他の包括利益累計額	△ 132,781	△ 158,618
<b>3</b> 純資産合計	21,911,425	23,220,730
負債及び純資産合計	45,649,018	50,254,839

#### 3 純資産

純資産総額は232億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ13億9百万円の増加となりました。



## 連結損益計算書

科 目	前 期	当 期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
	千円	千円
売上高	85,145,487	91,315,782
売上原価	70,671,609	75,147,488
売上総利益	14,473,878	16,168,294
販売費及び一般管理費	12,394,288	13,422,585
営業利益	2,079,589	2,745,708
営業外収益	121,845	272,418
営業外費用	84,187	76,257
経常利益	2,117,246	2,941,868
特別利益	-	119,574
特別損失	90,177	154,051
税金等調整前当期純利益	2,027,069	2,907,391
法人税、住民税及び事業税	1,451,796	1,126,591
法人税等調整額	△ 590,817	△ 137,340
少数株主損益調整前当期純利益	-	1,918,141
当期純利益	1,166,091	1,918,141

## 次期の見通し

これまで、国内景気は緩やかながらも回復を続けてまいりましたが、平成23年3月に発生した東日本大震災は経済活動等に甚大な影響を及ぼすことが見込まれ、今後の日本経済の先行きは予断を許さない状況にあります。

平成24年3月期における当社グループの業績見通しについては、震災によるマイナス材料を懸念する一方、半導体及び電子デバイス事業では産業機器関連の堅調な需要に加え、新たな商権の獲得等が寄与すると見込まれております。また、コンピュータシステム関連事業では震災の影響等もあり、需要回復に時間を要する見通しとなっておりますが、データセンターの利用拡大に向けたビジネスの拡充を図るとともに、企業や官公庁への直接販売に注力してまいります。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前 期	当 期
	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
	千円	千円
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 225,792	△ 1,877,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 100,143	△ 676,854
財務活動によるキャッシュ・フロー	703,537	2,321,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,941	△ 15,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	375,660	△ 248,022
現金及び現金同等物の期首残高	1,245,602	1,621,262
現金及び現金同等物の期末残高	1,621,262	1,373,240

(注) 連結財務諸表の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は18億7千7百万円(前年同期は2億2千5百万円の使用)となりました。これは主に仕入債務の増加等の資金増加要因があった一方、たな卸資産の増加、法人税等の支払い等の資金減少要因がこれを上回ったためであります。

以上の内容を踏まえ、平成24年3月期の連結業績見通しについては、売上高950億円(前期比4.0%増)、営業利益33億7千万円(前期比22.7%増)、経常利益32億5千万円(前期比10.5%増)、当期純利益19億5千万円(前期比1.7%増)を見込んでおります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	44,000	1,145	1,100	630
	△ 3.4%	△ 0.5%	△ 11.8%	△ 26.9%
通 期	95,000	3,370	3,250	1,950
	4.0%	22.7%	10.5%	1.7%

(注) %表示は前期増減率

## 株式情報 (平成23年3月31日現在)

### 株式の状況

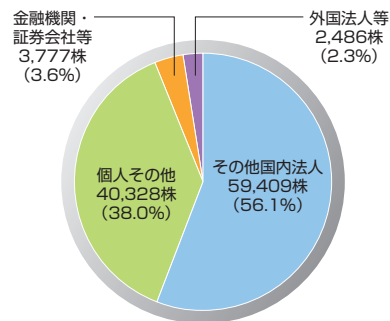
発行可能株式総数	256,000 株
発行済株式の総数	106,000 株
株主数	5,285 名

### 大株主

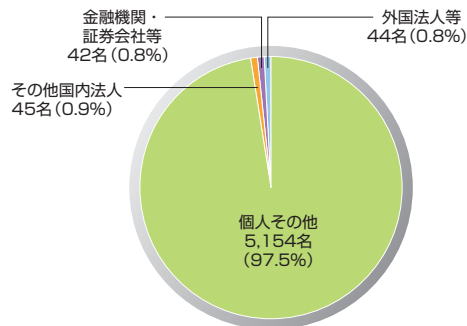
株主名	持株数	出資比率
	株	%
東京エレクトロン株式会社	58,753	55.4
東京エレクトロンデバイス社員持株会	4,355	4.1
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTHERN TRUST GUERNSEY NON TREATY CLIENTS	794	0.7
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	733	0.7
居山耕作	382	0.4

### 株式分布状況

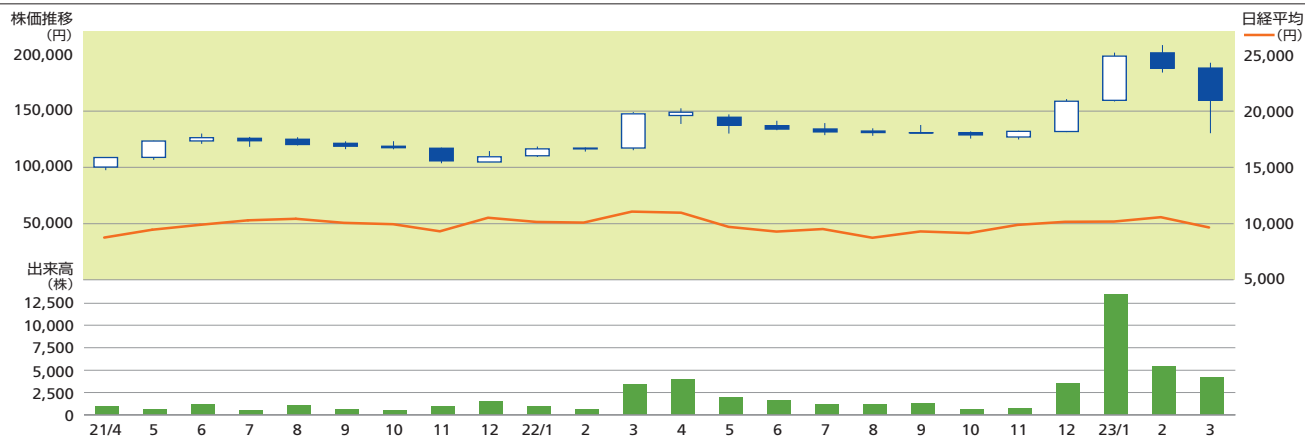
#### 所有者別株式数



#### 所有者別株主数



### 株価と出来高



## 会社の概要

### 会社概要 (平成23年3月31日現在)

商号	東京エレクトロン デバイス株式会社 TOKYO ELECTRON DEVICE LIMITED
設立	昭和61年3月3日
資本金	2,495,750,000円
従業員数	880名(連結)
本社	神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地4 横浜イーストスクエア

### 主な拠点 (平成23年3月31日現在)

#### 本社

#### 本社営業部

北関東支社 (埼玉県・さいたま市)

大阪支社

名古屋支社

仙台営業所 水戸営業所

立川営業所 長岡営業所

松本営業所 三島営業所

浜松営業所 京都営業所

姫路営業所 広島営業所

福岡営業所

本社第二営業部4グループ (神奈川県・厚木市)

北関東支社郡山サテライト

北関東支社営業第4グループ (栃木県・宇都宮市)

新宿オフィス

名古屋オフィス

大阪オフィス

つくば営業所

エンジニアリングセンター (神奈川県・横浜市)

上海華桑電子有限公司 (通称:東京エレクトロンデバイス上海)

香港華桑電子有限公司 (通称:東京エレクトロンデバイス香港)

無錫華桑電子科技有限公司 (通称:東京エレクトロンデバイス無錫)

Tokyo Electron Device Singapore Pte. Ltd. (通称:東京エレクトロンデバイスシンガポール)

パネトロン株式会社

### 役員等 (平成23年6月15日時点)

#### 取締役

取締役会長	砂川俊昭
代表取締役社長	栗木康幸
代表取締役副社長	久我宣之
取締役	木村勉
取締役	天野勝之
取締役	徳重敦之
取締役	東哲郎
取締役	中村隆
取締役	岩田義文

#### 監査役

常勤監査役	浅野升徳
常勤監査役	武井弘
監査役	林田謙一郎
監査役	川勝正昭

- (注) 1. 岩田義文氏は、社外取締役であります。  
2. 林田謙一郎氏および川勝正昭氏は社外監査役であります。

#### 執行役員

栗木康幸
久我宣之
木村勉
天野勝之
徳重敦之
穴倉弘明
大崎正之
八幡浩司
黒田修治
林英樹
石崎敏之
初見泰男
上小川昭浩

## 個人投資家様向けIR活動

当社は、新聞社や証券会社などが主催するIRフェアや個人投資家説明会に参加しております。  
また、当社ホームページ内に個人投資家様向け専用サイトをご用意し、事業内容、業績情報などの配信に努めております。



● 東証IRフェスタ2011  
(平成23年3月11日 有楽町国際フォーラム)



### 主なコンテンツ

トップメッセージ  
IR最新情報  
経営戦略  
決算・財務情報  
会社情報  
株式情報  
IR資料室  
IRスケジュール  
個人投資家の皆様へ など

● 当社IRサイト：  
<http://www.teldevice.co.jp/ir/>

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については、毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
配当支払株主確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社証券代行部 証券代行事務センター 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 2760)

### ● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。



半導体及び電子デバイス事業  
にて認証取得